



金昌鏞さん

Kim Changyong / キム チャンヨン

韓国出身。22歳で来日し、現在は介護職に携わる。
東桃谷地域に在住、妻と娘2人の4人家族。

生野区の住み心地は？

とても住みやすいまちだと思います。坂があまりないので自転車でどこでも行けるし、必要なものは近所で何でも揃います。コアタウンにもよく行きますよ。

金さんにとって生野区とは？

生野区は韓国・朝鮮、中国、ベトナム、タイ…と本当に色々な国の方がいる。様々なルーツを持つ人々が交わる地域、ありのままの自分で住める場所です。

昔ながらの町並みが残っているのでご近所さんともほどよい距離感で、料理のいい匂いで晩ご飯がなんとなくわかったり(笑)。逆に、体調を崩した時などは周りが気づくことができ、安心して暮らせる。日々の生活の中で自然につながりあえています。今私が携わっている介護業界の「地域包括サービス」にもつながる関係性が生きている地域です。

国籍にかかわらず、同じまちに住む人々は「自分のまちをつくる」仲間。互いに手を携えれば温もりも伝わります。自分の文化を大切に、相手の文化を認める社会になってほしい。生野区はそれができるまちだと思います。



父：LE HONG PHUOC さん

母：HUYNH THI NGOC MAI さん

長男：LE HONG NHAT さん

次男：LE HONG HUY さん

(上から) レ ホン フック、フィン ティ ゴック マイ
レ ホン ニヤット、レ ホン フィー

夫妻と長男のニヤットさんはベトナム出身。2011年に
父さんのフックさんが日本へ、その2年後に一家で大阪
に移り住む。次男のフィーさんは生野区生まれ。

日本に移り住んでの感想は？

一年中温暖なベトナムと違って、日本には四季があります。慣れるまでは特に冬がとても寒くて、子どもにかなりの厚着をさせて周りに驚かれました。

母乳やミルクの考え方、離乳食に食べさせるものなど、子育ての方法もベトナムと日本では違います。子ども達には両方の言葉を使えるようになってほしいと思い、外では日本語、家の中ではベトナム語で話すことにしています。親は毎日日本語を勉強しています(笑)。

生野区はどんなまちですか？

皆さん優しいです。声のかけあいがあり、人のつながりがあります。

次男を出産した病院や、長男の友達を通してママ友もできました。色々なことを情報交換したり、相談したりしています。この先、保育園や学校の先生とのコミュニケーションや書類など言葉の問題が少し心配ですが、皆さんに助けてもらえるので大丈夫だと思っています。